

導入事例

# ヘルスケア事業者が フォーティネットのセキュリティ プラットフォームでクラウド上の 重要なアプリケーションを保護

「Healthcare Operator Protects Critical Applications in the Cloud With Fortinet's Security Platform」  
事例の抄訳です。

CASU (University Health Assistance Fund) はミナス・ジェライス連邦大学 (UFMG) の従業員向けに医療保険制度を提供している民間の非営利団体です。1992年に設立されたCASUは現在130人の従業員と、幅広い医療サービスを利用する2万人以上の会員を抱えています。ブラジルのミナス・ジェライス州の州都であるベロオリゾンテに本社および2か所の支社、クリニック1か所を有し、また4か所のサービス部門のうち1か所はベロオリゾンテに、残る3か所は同州内陸部にあります。

CASUはインフラストラクチャをMicrosoft Azureに移行することで、会員情報のポータルと2つのサービスウェブサイトとを病院のWebサービスと統合し、常時利用できるようにしたいと考えました。現在のリソースではこの種のデータセンターを自前で運営・管理することが難しかったからです。

CASUは本社にデータセンターを設置し、重要なアプリケーションとワークロードはクラウドに置くというハイブリッド環境を導入していました。CASUのセキュリティおよびインフラストラクチャ担当コーディネーターであるTulio Lener氏は次のように語っています。「私たちのコアビジネスは健康保険商品の提供です。クラウドを利用できればインフラストラクチャに多額の費用を投資しないで済みます。ポータルは24時間365日利用可能でなければなりません。会員をサポートしながら病院の医療サービスをリアルタイムで承認できるようにすることが社内ネットワークとの通信において不可欠です。障害が発生するとサービスの提供が遅れたり、提供自体ができなくなったりする場合があります。」

## クラウド保護によるビジネスセキュリティ対策

クラウドの利用が増えたため、ITチームはMicrosoft Azureでインフラストラクチャ全体のセキュリティを確保する必要に迫られました。また、WVD (Windows Virtual Desktop) で作業する一部のユーザーを移行する必要もあり、追加のセキュリティ対策を導入しない限り、保護機能なしでインターネットにアクセスできてしまう状況でした。Lener氏は次のように語っています。「セキュリティ対策なしでクラウドを使用すると、インターネット上でサーバーが脆弱な状態になります。」

しかもWVDはユーザーインターフェースとして欠かせない環境でした。この業界に対する脅威の急増を考えると、セキュリティ強化が不可欠でした。」

ブラジル国内のフォーティネットビジネスパートナーであるNowCyのアドバイスに従って、CASUはFortiGate VM (仮想マシン)を導入し、サーバーからデスクトップまでクラウドインフラストラクチャ全体にエッジセキュリティがもたらされました。フォーティネットのセキュアSD-WANを使ってMicrosoft Azureを本社と支社を結ぶ通信ネットワークに統合し、可用性を向上するとともにクラウドとあらゆる部門間の通信を安全に接続できるようにしました。FortiGateは、ネットワークのセグメント化とコンテンツフィルタリングやIPS (不正侵入防止システム)などの基本的なセキュリティ機能を提供することで、クラウド内の全アプリケーションとユーザーを保護します。



「FortiGateのセキュリティ機能は、管理面で大きなメリットをもたらしてくれました。コンプライアンスの面では、LGPD (ブラジルの一般データ保護法) に従って会員のデータセキュリティと可用性を確実に実現するという私たちの重要な活動に役立っています。」

- CASU  
セキュリティおよび  
インフラストラクチャ担当  
コーディネーター、  
Tulio Lener氏

## 詳細

**顧客:** CASU/UFMG

**業種:** ヘルスケア

**所在地:** ブラジル

## ビジネスインパクト

- クラウドインフラストラクチャとWVD (Windows Virtual Desktop) ユーザーの包括的なセキュリティ対策を実現
- Microsoft Azure 環境全体の可視性と監視によってクラウドとオンプレミスの両方でプロアクティブな管理を実現

Lener氏は次のように語っています。「物理的な機器にFortiGate 次世代ファイアウォール (NGFW) を導入しており、このソリューションを気に入って信頼もしていたので、フォーティネットを選びました。他の選択肢も検討しましたが、フォーティネットのほうが安心して使用できると考えました。導入は非常にスムーズで運用やユーザーへの影響もありませんでした。チーム全員が気に入り、検査や予約を管理するメインのウェブサイトやパートナーポータルなど、ビジネスクリティカルなアプリケーションのセキュリティをさらに強化することができました。」

導入によりCASUは、ウイルス対策から暗号化トラフィックのスキャンに至るまで、すべてのFortiGate NGFW機能を活用しています。Lener氏は次のように語っています。「最先端の次世代ファイアウォールのリソースを100%活用しています。セキュリティコンプライアンスの観点からも、設定を100%行いました。」

CASUのシナリオでは、ブラジルや米国など異なる地域にネットワークがあっても単一のファイアウォールで問題なく保護できます。つまりブラジルと米国の両方のWVDサーバーとアプリケーションをフォーティネットのプラットフォームで保護することができるということです。

Lener氏は次のように語っています。「FortiGateのセキュリティ機能は、管理面で大きなメリットをもたらしてくれました。コンプライアンスの面では、LGPD（ブラジルの一般データ保護法）に従って会員のデータセキュリティと可用性を確実に実現するという私たちの重要な活動に役立っています。」

## クラウドの可視性を向上することでプロアクティブな管理を実現

CASUのITチームには、クラウド内のネットワークの可視性が不十分という課題もありましたが、現在はフォーティネットプラットフォームでネットワーク内外のユーザーを完全に把握できるようになりました。NowCyのセキュリティ運用センター（SOC）による監視のもと、FortiManagerでネットワーク管理を一元化し、FortiAnalyzerで高度なインシデントログやレポートへのアクセスを行っています。これを可能にしているのが日々更新される1,000以上の指標から成るデータベースを提供しているFortiGuard IOC（Indicators of Compromise）サービスです。不審なIPアドレスとの通信を検知した場合、ITチームは分析や充実したコンテキスト情報とともにソリューションのインテリジェンスと自動化機能を活用し、効果的な意思決定を行うことができます。

Lener氏は次のように語っています。「ネットワークの可視化と監視がリアルタイムで実現したことは大きな差別化要因で、先を見据えたアクションを可能にしてチームがネットワークセキュリティの管理に費やす時間を削減することができました。フォーティネットのソリューションとNowCyによる管理によって、不審な挙動やアプリケーションを直ちに、徹底的に確認し、クラウド内、本社や支社といったすべての環境内のあらゆるセキュリティイベントを関連付けてレポートやログに記録できるようになりました。実際にこうした状況に対応し、発生源で脅威を抑止できました。このソリューションの価値を実感できた瞬間でした。」

- セキュア SD-WAN による接続性の向上
- LGPD（ブラジルの一般データ保護法）順守と会員のデータ保護
- ITチームの時間管理を改善

## ソリューション

- FortiGate
- FortiGate VM for Microsoft Azure
- セキュア SD-WAN
- FortiAnalyzer
- FortiManager
- FortiGuard IOC サービス

「可視化と監視がリアルタイムで実現したことは大きな差別化要因で、先を見据えたアクションを可能にしてチームがネットワークセキュリティの管理に費やす時間を削減することができました。」

- CASU  
セキュリティおよび  
インフラストラクチャ担当  
コーディネーター、  
Tulio Lener氏

**FORTINET**

フォーティネットジャパン合同会社

〒06-0032

東京都港区六本木7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9階

[www.fortinet.com/jp/contact](http://www.fortinet.com/jp/contact)

お問い合わせ